

高めよう地域防災力！！

～糸魚川市・新潟県とともに大規模な土砂災害を想定した防災訓練を実施～

近年、九州北部豪雨、平成30年7月豪雨（西日本豪雨）など大規模で広域な土砂災害が頻発しています。

このような大規模な土砂災害に迅速に対応するため、国土交通省松本砂防事務所では、平成25年度に管内の関係行政機関とともに「信濃川上流・姫川流域地域連携会議」を設置し、以後、災害発生時の役割分担や連携内容を確認しています。

本訓練は、この連携会議に基づき毎年実施しており、本年度は糸魚川市を対象として、大規模土砂災害発生時に“死者ゼロ”を目指すため、関係機関が取るべき一連の行動を確認・共有し危機管理体制を強化することを目的として開催するものです。

※昨年の実施状況を参考に添付（別紙1）します。

1. 訓練日時

平成30年10月29日（月）13：30～17：00

（タイムスケジュールは別紙2を参照）

2. 開催場所

糸魚川市会館ふれあいセンタービーチホールまがたま

（新潟県糸魚川市寺町4-3-1）

3. 参加機関

糸魚川市（消防本部、産業部建設課）、新潟県（防災局、土木部、糸魚川地域振興局）、気象庁新潟地方气象台、国土交通省北陸地方整備局（河川部、松本砂防事務所）、松本砂防スペシャルエンジニア

4. 訓練内容（詳細は別紙3参照）

想定される状況に区切って、訓練参加者が、災害時にどのように行動するか訓練進行役の問いに答えながら訓練を進める学習型の訓練を実施します。

また、国土技術政策総合研究所 内田砂防研究室長が、解説役となり、訓練参加者の回答内容に地域防災力向上に役立つ近年の対応事例などを解説します。

資料配付先

糸魚川市政記者クラブ
松本市政記者クラブ
大町市政記者クラブ
その他 報道機関各者

問合せ先（事務局）

北陸地方整備局 松本砂防事務所
電話：0263-33-1115（代表）
副所長（技術） 長谷川 真英（内線204）
調査課長 石田 哲也（内線351）

平成29年度 大規模土砂災害を想定した合同防災訓練の実施状況

近年、九州北部豪雨、平成30年7月豪雨（西日本豪雨）など大規模で広域な土砂災害が頻発しています。

このような大規模な土砂災害に迅速に対応するため、国土交通省松本砂防事務所では、管内の関係行政機関との連携を高める一貫として平成25年度より防災訓練に取り組んでおり、平成29年度は大町市を対象として、大規模土砂災害発生時に地域住民の皆様の安全安心のために、関係機関が取るべき一連の行動を確認・共有し、危機管理体制の強化を図ることを目的とした合同防災訓練を開催しました。

日 時：平成29年11月14日（火）13:00～17:00

場 所：長野県大町市 サンアルプス大町

参加機関：大町市、大町市社会福祉協議会、大町市消防団、大町市自主防災会連絡会、長野県、大町警察署、北アルプス広域消防本部、自衛隊、長野地方気象台、北陸地方整備局、松本砂防事務所、松本砂防スペシャルエンジニア

【解説者】国立研究開発法人 土木研究所

上席研究員 石井 靖雄氏

【見学機関】糸魚川市、新潟県、松本市、白馬市、小谷村、長野県 他

計72名

災害想定：大町市で最大震度6弱の地震が発生し、天然ダム（河道閉塞）の他、がけ崩れ等が同時多発的に発生。

地震から約2週間後に豪雨が発生し、さらに災害が起こる恐れが高まる。



天然ダム イメージ図(CG)

訓練資料



訓練実施状況

大町市長による講評

災害は刻々と事態が変化する中で絶えず即応していく必要があるため、各機関の対応を確認できる今回の防災訓練は非常に重要なものであった。

住民の方々の一番の願いは、これからも安全に暮らし続けたいということ。訓練に参加された皆様には、今後も地域のためお力添えいただきたい。



大町市長
牛越徹氏

【訓練スケジュール(予定)】

訓練開催日：10月29日（月）

	実施事項	時間
	集合・受付・準備	13:00～13:30
1	開会	13:30
2	開会挨拶（松本砂防事務所長 石田 孝司）	13:30～13:35
3	訓練の進め方等の確認	13:35～13:45
4	解説者付学習型訓練	
	① ステージ0【情報収集・警戒対応】	13:45～14:30
	② ステージ1【初動対応】	14:30～15:00
	③ ステージ2【河道閉塞への緊急調査対応・がけ崩れ等対応】	15:00～15:30
	（休憩 15分）	15:30～15:45
	④ ステージ3【河道閉塞に対する監視・観測、応急対策】	15:45～16:15
5	ふりかえり・意見交換	16:15～16:45
6	全体総括（解説者：国土技術政策総合研究所 砂防研究室長 内田 太郎）	16:45～16:50
7	全体講評（糸魚川市長 米田 徹）	16:50～17:00
8	閉会	17:00

【訓練方法】

(1) 訓練ステージ（想定される状況に応じた段階毎に訓練を行う。）

ステージ0 情報収集・警戒対応ステージ

- ・ 降雨情報や住民の避難情報・災害情報の収集

ステージ1 初動対応ステージ

- ・ 土砂災害（同時多発的な土砂災害、河道閉塞発生）の発生直後の初動対応

ステージ2 河道閉塞への緊急調査対応・がけ崩れ等対応

- ・ 現地調査の実施や調査結果を受けての住民避難への対応

ステージ3 天然ダム（河道閉塞）に対する監視・観測、応急対策ステージ

- ・ 河道閉塞に対する監視・観測、応急対策の対応
- ・ 今後の降雨情報を踏まえた住民避難への対応

(2) 訓練の進め方

「司会進行者」と「訓練参加者」にわかれ、「司会進行者」は想定した災害シナリオに則して状況付与を行う。そして「司会進行者」から「訓練参加者」に、その災害事象への対応について様々な質問をし、「訓練参加者」は回答する形式で進行する。また、「解説者」は土砂災害の専門家という立場から、災害対応行動や制度等についての解説を実施し、必要に応じてステージの総括を行う。

このように、1つ1つの災害事象を取り上げて質問回答する形で行うので、時間軸にとらわれず場面を区切った訓練ができる。また、その都度補足や解説を行うことで訓練参加者や見学者の理解度を向上できる訓練方式である。

